

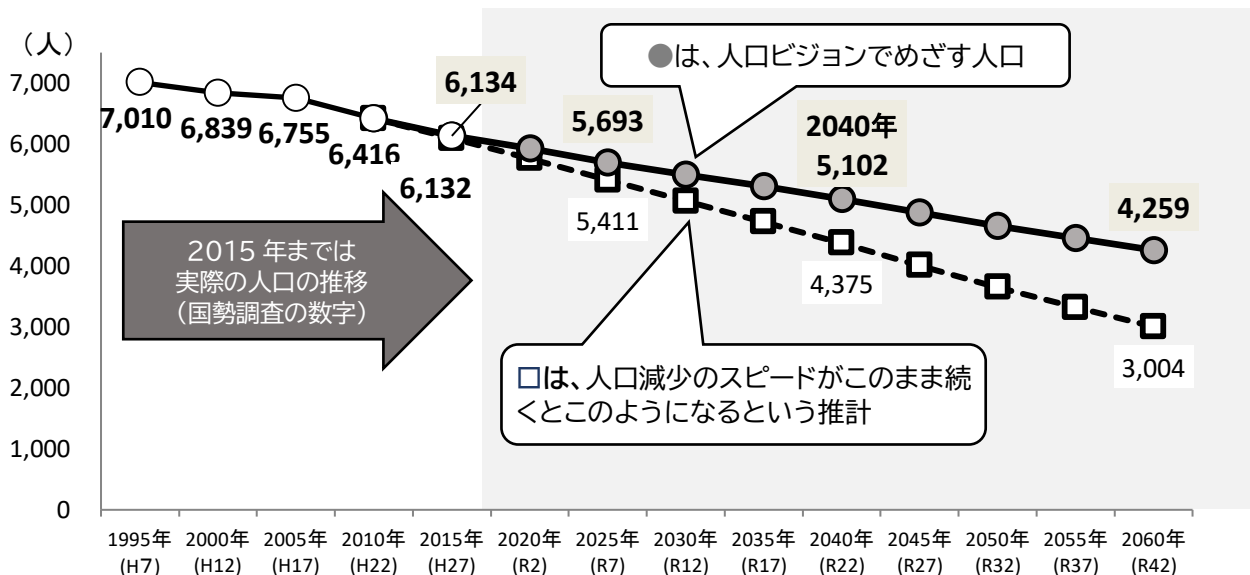
# 「第2期士幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました

士幌町では、「士幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョンと及び総合戦略）」を2015年に策定しましたが、総合戦略の見直し時期となったことから、2020年度から2024年度までを計画期間とする「第2期士幌町人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

## 戦略の目的

急速に進む人口減少のスピードを抑制することです。士幌町では第1期の「人口ビジョン」で、『2040年の時点で約5,100人を維持する』という目標をたて、それを指すために「総合戦略」を策定しました。

総合戦略策定から5年経ち、284人減少しましたが、人口ビジョンで目指していた人口（6,134人）と概ね同じ数値（6,132人）を維持しています。



## 戦略の結果

また、第1期総合戦略で示した4つの目標の結果は次の通りです。

4つの目標の内容		目標数値	結果
基本目標1	町内従業者数	2,525人	2,412人(平成28時点)
基本目標2	社会増減数(転入-転出)	±0人(5年間合計)	-83人
基本目標3	出生数	223人(5年間合計)	205人
基本目標4	町民の定住意向率※	60%	50.8%

※町民アンケートでの「今住んでいる場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」の合計

## 戦略の結果

本町は、出生と転入で増加する数より、死亡と転出で減少する数の方が毎年多いため、人口が減少しています。新しい総合戦略でも、出生と転入が増え、死亡と転出が減るよう、取り組みます。

## [テーマ] 令和時代の“農村ユートピア”の実現をめざして

- ①人口減少に適応し、将来にわたって「活力ある地域社会」を実現する
- ②先駆的な農業経営が展開される地域の強みを基盤に多角的な視点で「関係人口※」を創出する

※土幌町民ではないものの、町内に通勤・通学する人、訪れる人、交流のある地域の人、ふるさと納税で応援してくれる人など、土幌町と関係の深い人たちのことです。

### 基本目標1 地域産業の活性化により、多様な雇用を創出する

施策1 地域産業を支える担い手の確保、人材育成を支援します。

- 農業者や商工業者の経営基盤強化
- 誰もが安心して働ける環境づくり、多様な働き方の創出
- 若い世代が土幌で働く場を見つけることができる支援 など

施策2 基幹産業の拡大・多様な事業活動と環境整備を支援します。

- 創業・起業支援×空き店舗対策
- 高校生からの人材育成、専門技術者の創出
- 次世代農業（スマート農業等）の推進、データ利活用・情報基盤整備の支援 など

めざす目標 町内従業者数 2,412人(令和6年) 平成28年の数値を維持

### 基本目標2 人の流れを増やし、住環境を充実させ、移住・定住を促す

施策1 多様な人とつながる機会を増やし、「関係人口」の創出や拡大により移住を促進します。

- 道の駅「ピア21 しほろ」の情報発信・交流機能の強化
- 自治体連携による観光交流や関係人口の創出・拡大、移住・定住関連事業の推進 など

施策2 住んでみたい、住み続けたい、多様な住環境をつくれます。

- 短期・長期滞在や二地域居住ができる住宅の利用促進
- 移住促進助成事業の実施 など

めざす目標 社会増減数(転入-転出) ±0人(令和2~令和6年の5年間)

### 基本目標3 結婚・出産・子育てへの支援を充実させる

施策1 結婚や出産を望む人を応援します。

- 地域が一体となった結婚を希望する人の支援
- 出産に関する相談体制等の充実 など

施策2 土幌で子どもを育てたい、教育したいと思う人を応援します。

- 育児と仕事が両立しやすい環境づくり
- 子育てにかかる経済的な負担の軽減
- 「しほろキッチン」を活用した学習体験や新商品開発・研究の支援 など

めざす目標 出生数 212人(令和2~令和6年の5年間合計)

### 基本目標4 安心して住み続ける ことができる地域をつくる

施策1 土幌に住み続けられる生活を実現する魅力的なまちをつくれます。

- 質の高い暮らしのためのまち機能の充実
- 住み慣れた自宅や地域で暮らせる支援、医療体制 など

施策2 質の高い防災機能をもつ災害に強いまちをつくれます。

- 防災備蓄品や防災救助品等の整備
- 日頃からの災害時のネットワークづくり など

めざす目標 町民の定住意向率 60%(令和6年)

※町民アンケートでの「今住んでいる場所に住み続けたい」「町内の別の場所に移りたい」の合計。